

# 建築研究所ニュース



平成24年11月30日

平成25年3月8日に、「大震災の教訓を改めて考える」をテーマに、建築研究所講演会を開催します。

建築研究所講演会は、年に一度（毎年3月）、建築研究所の研究成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野の最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しているものです。今回は、テーマを「大震災の教訓を改めて考える」とし、平成25年3月8日（金）に有楽町朝日ホールにおいて開催いたします。

日時	平成25年3月8日（金）10:30～16:45（開場10:00）
会場	有楽町朝日ホール（東京・有楽町マリオン11階）
テーマ	大震災の教訓を改めて考える
入場料	無料（事前登録不要です。入場は先着順とさせていただきます。）

## ○ 建築研究所からの講演

建築研究所からは、東日本大震災の教訓を今後の社会に生かすために建研が取り組んでいる研究活動を中心に、住宅・建築・都市分野における研究開発に関する最新の情報をいち早くご紹介いたします。

東日本大震災後の住宅復興の取組とその課題	住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩田 司
安政大地震による建造物被災分布の特徴	特別客員研究員 都司 嘉宣
住宅・建築の更なる省エネルギー化	環境研究グループ 上席研究員 桑沢 保夫
大規模木造建築物の防火対策	防火研究グループ 上席研究員 萩原 一郎
今後期待される構造設計の方向性	構造研究グループ グループ長 福山 洋

かわた よしあき  
河田 惠昭氏)

○ 特別講演（関西大学理事・社会安全研究センター長・教授

今回は、関西大学理事・社会安全研究センター長・教授の河田惠昭氏をお迎えして、「想定外の災害を起こさないための哲学」というタイトルで特別講演をしていただきます。



工学博士。専門は防災・減災。京都大学巨大災害研究センター長、京都大学防災研究所長を歴任。現在は関西大学理事・社会安全研究センター長・教授、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長を兼務。京都大学名誉教授。日本自然災害学会会長、中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」座長、東日本大震災復興構想会議委員を歴任。現在は日本災害情報学会会長。2007年国連 SASAKAWA 防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県社会賞、11年和歌山県知事表彰（防災）受賞。著書：『これからの防災・減災がわかる本』（岩波ジュニア新書）、『スーパー都市災害から生き残る』（新潮社）、『12歳からの被災者学－阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵』（共著）（NHK出版）、『津波災害』（岩波新書）、『にげましょう』（共同通信社）など。

※ 詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページでご案内します。  
また、上述の内容については変更する場合がありますので、予めご了承ください。

**（内容の問合せ先）**

独立行政法人 建築研究所  
所属 企画調査課  
氏名 阿部、池田  
電話 029-879-0632（阿部）  
029-879-0638（池田）  
E-mail kikaku@kenken.go.jp